

仁淀川

仁淀川町広報

2010
12月号

スポーツの秋 芸術の秋
芋煮会に児童ら80人
いなかで遊ぼう in 仁淀川町
集落見聞録〈藤ノ野〉



老若男女さわやかに汗

10月10日 秋晴れの下、第6回池川地区運動会が池川小学校で行われ、8チーム約300人が参加しました。

体力勝負の競技以外にも、幼児から高齢者まで幅広く楽しめる競技が盛り込まれ、笑い声や歓声の飛び交う中、さわやかな汗を流しました。

池川地区運動会



※11月7日(日)に予定していた吾川地区運動会は、雨天のため中止となりました。

特集

スポーツ・
芸術の
秋

彩り深く天高き秋、町内各地で
催し物が盛んに行われました。



10月9日・10日 池川小学校体育館で文化祭展が行われ、たくさんの方が鑑賞に訪れました。
会場には保育園児、小・中学生、一般の方から絵や写真、生け花などのほか、今年は廃材を利用したかごや陶芸作品など五百七十点の作品が出品され、来場者の目を楽しませていました。

池川文化祭展

10月30日～11月2日 仁淀農業者トレーニングセンターで仁淀文化祭が開催され、四日間で延べ四百六十人の方が来場し、所狭しと並べられた力作を鑑賞しました。
今年も保育園児や小・中学生、住民の皆さんから、絵画や書、写真、工芸・手芸品、生け花など、思いを込めた作品の数々が出展され、盛況のうちに終了しました。



仁淀文化祭

日常から生まれる親しみ深い作品

11月12日～15日 池川コミ

ユニティセンターで、橋本

和康さん（81歳・下土居）
の彫刻作品二十九点を集め
た「橋本和康ふるさと展」
彫刻」が開かれ、期間中
二百五十人が鑑賞に訪れま
した。

橋本さんは、日常生活の

一断面や社

会的背景か
らの心情を
基に作品を
創作される

そうで、表
情や姿勢な
どどれも親

しみやすい
作品が並び
ました。

会場に訪

れた保育園
児や小学生

は、彫刻を下から眺めたり、
後ろに回ってみたり、興味
深そうに見ていました。

小学一年生の男の子が
「この竹馬、棒が一本ない
で」と言うので見てみると、



竹馬の棒が一本しか造られ
ておらず、洞察力に関心し
ていました。

また一般の方は「親しみ
が持てる作品やね」「この
赤ちゃんの手や足は、ぷよ
ぷよしていて、つい触って
みたくなるね」などと談笑
しながら鑑賞され、会場は

終始和やかな雰
囲気でした。

ふるさと展最
終日には、大野
敏光教育長か
ら、橋本さん
に感謝状が送ら
れました。



大野教育長(左)と橋本さんご夫妻

橋本和康ふるさと展 29 作品一堂に

【略歴】

昭和 4 年 仁淀川町下土居生まれ
昭和 43 年 県展初出品 特選
昭和 56 年 「蜘蛛の糸」制作
※旧池川町へ寄贈
平成 10 年 県展審査員

橋本和康さん

橋本さんの彫塑への取り組みは、趣味と教師という職業柄から始まり、県展によって育てられたそうです。

自然散策と田舎料理を堪能

11月7日 秋葉まつりの里を元気にする会「えんこ巖」（中越伊勢夫会長）主催による「秋の満喫ツアー」が、別枝中学校跡で行われ、小雨にもかかわらず 28 人の参加がありました。

午前中は、春日公園と秋葉神社を散策し、参加者らは秋葉神社拝殿の見事な彫刻に感嘆の声を上げていました。

昼食は別枝中学校跡で、山菜料理、アメゴの塩焼き、田楽などずらり並んだ田舎料理を堪能しました。昼食会場では町産の緑茶と紅茶の試飲も行われ好評でした。

住民による売店コーナーでは、参加者らが地元産の新鮮な野菜や丸太を削ったイス、煎りもちなどを買い求めています。

ツアーについての感想を伺うと「来年もぜひ参加したい」「料理がおいしかった」などの

声が多かった一方、初めて訪れた方からは「案内の看板が少ないのでは」などと、課題となる意見も出ました。

【投稿】参加者の中には、地元出身者の子どもさんもいて、世代を超えた交流が今後の地域の発展に寄与すればいいとの思いを抱きながら、秋葉を後にしました。

（地域支援企画員 矢野 光昭）

秋の満喫ツアー



秋葉神社へ向かう参加者ら